

# 平成29年度 事業報告

(グループホームりゅうりゅうⅠ・Ⅱ・Ⅲ)

## 1) 事業所運営の理念・基本方針

{考察}

支援員の経験不足により、各支援員が独善的な判断に基づいて行動することがあり、管理者及び支援員間に情報の共有化が不十分であったため、ご入居者様への対応がまちまちであったが、各自の役割を明確にし、十分な意見交換をすることにより、以前よりチームワークが改善されるとともに、ご入居者様の日常生活も安定しつつある。

## 2) 管理者の事業に対する考え方

{考察}

管理者として、個々の事情を抱えているご入居者様に、的確かつ適切に対応することが不十分であったが、個別的な難しい問題に真摯にかつ丁寧に向き合ってきた結果、ご入居者様及び支援員さらには他の関係機関との連携が円滑なりつつある。

## 3) 入居者（利用者）の受入（利用）促進計画

{考察}

予め退去者が判明していたにもかかわらず、入居者募集に向けての準備が不十分であったが、区役所等の関係機関に入居者の募集案内をした結果、ほぼ満床を達成できた。今後は敏速かつ適宣の対応を心がけるように努める。

## 4) 入居者（利用者）のニーズ・要望への対応内容

{考察}

定期的なモニタリング・アセスメントは不十分であった。

課題に関しては、ケース会議、カンファレンスなどの情報を各支援員と共有することができていなかった。

今後は、目標を明確にして、ご入居者様と職員との間でも確認するように努めていきます。

## 5) 入居者（利用者）の苦情受付体制及び対応に関する考え方

{考察}

日常生活の中での要望などを、できるだけ寄り添うように聴き取り、丁寧に対応するように各支援員に周知させる。

## 6) 事故防止（再発防止）への取り組み

{考察}

幸いにも重大な事故は発生していないが、服薬管理には各支援員にミス起きないように今後も務めていきます。

## 7) 職員の確保、配置及び育成に対する計画

{考察}

支援員の確保は出来ている。支援員各自が自分の意見交換、情報交換ができていなかったが環境を整えることにより少しずつではあるが支援員の姿勢に変化がみえた。

利用者様に寄り添う支援ができてきた。

支援員間の関係性がとれてきています。

## 8) 施設・設備の保守・管理に関する考え方

{考察}

例年通り、建物は業者による定期点検を行い、保守、管理に努めます。

消防用設備点検は専門業者に依頼し保守、管理に努めます。

## 9) 個人情報保護への取り組み

{考察}

個人情報の取り扱いにはトラブルもなく施錠できるロッカーに保管しています。

個人情報の取り組みについては今後も、支援員に徹底していくことを継続します。

## 10) 関係団体・地域団体との連携

{考察}

町内会の行事と一緒に参加をさせていただきました。消防関連では、炊き出し等の準備をご入居者様と一緒に出来ました。今後も積極的に参加をし行きたいと思えます。

### 1 1) 社会資源としての役割について

{考察}

町内の公園掃除など参加をしています。近隣の方もご入居者様に声をかけていただき本当にうれしく思いました。これからも継続していきます。

### 1 2) 各種委員会・研修の実施に関する考え方

{考察}

今年度は、研修の参加が少なかったです、日常業務がなかなか安定できなかったことです。今後は、スキルを高めるため、研修を受けられる体制にしていきます。

### 1 3) 実習生・ボランティア受入、育成

{考察}

9月に阿久和3施設にてお祭りをいたしました、その際、入居者様も他の方とのコミュニケーションが取れていたように思いました。これからも続けていきたいと思えます。

### 1 4) 防災・防犯対策避難

{考察}

年2回の消防設備点検。

年2回の消防訓練、自治会主催の訓練参加

職員による避難訓練（恵の家と合同）

今後も継続していきます。